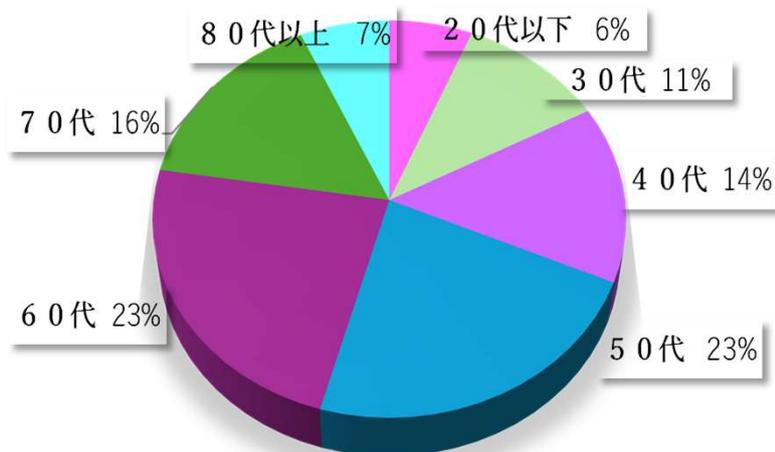


30年前に行った「きものからのメッセージ」でのアンケートをもとに今回2025年6月から9月実施のアンケートの集計結果をまとめ比較しました。

回答数4500件、うち当会会員・元会員は28%、非会員は72%となり、幅広い年代の方から回答いただきました。



©2025 公益社団法人 服飾文化研究会

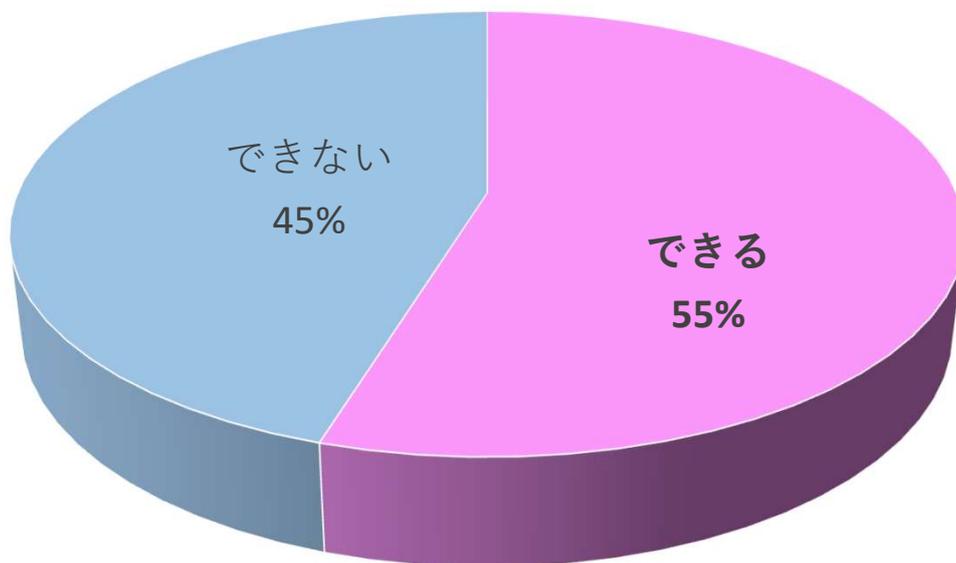
出身地を尋ねる質問では全国47都道府県と海外5、うち神奈川県36%、東京都13%と突出していました。

今回のアンケート結果からお祝い、晴れの日、特別な日には各年代ともきものだと答える割合が、30年前より増えている事は驚くべき結果でした。このことから今もきもの文化が代々受け継がれ大切にされてきていると思われま

す。  
このたびのアンケート調査実施において多くの方々からご協力いただきました。いたらない点もあったかと思いますが、ありがとうございました。

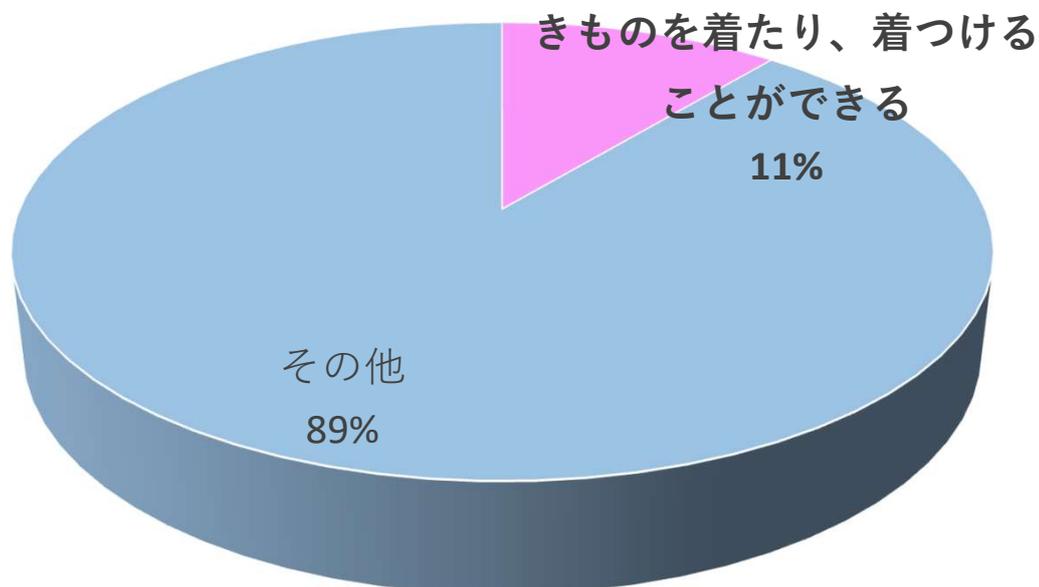
# きものを自分で着られますか？

公益社団法人服飾文化研究会 アンケート結果より



©2025 公益社団法人 服飾文化研究会

令和5年度文化庁生活文化調査研究事業（和装）報告書より



当会の伝承事業部で、着つけ・和裁・リフォーム教室を実施しています。当会の会員、およびご友人を中心に回答いただいたアンケート調査では、一般の方を対象とした文化庁の調査に比較すると、きものを着ることができる方の割合が圧倒的に大きくなっています。

# 行事にきものを着ましたか？

ご自身の時は？ お子様のは？（実数）

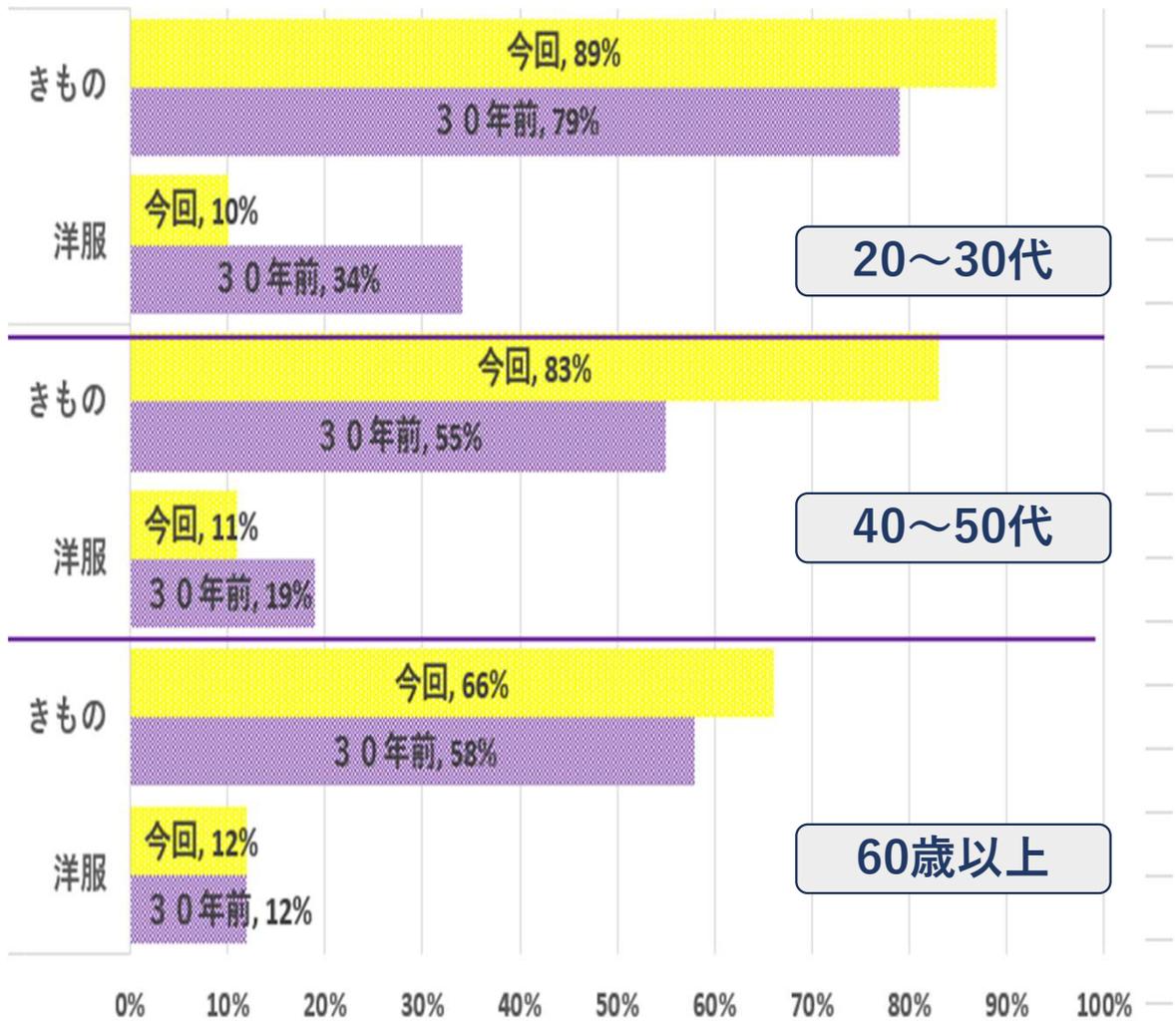


©2025 公益社団法人 服飾文化研究会

・七五三、成人式はご自身のときも、ご自分のお子様の時もきものが多いようです。

・初節句とお正月は  
自分＝きもの＞洋服 子ども＝洋服＞きもの  
となっています。

## 質問＝七五三に着たのは？



©2025 公益社団法人 服飾文化研究会

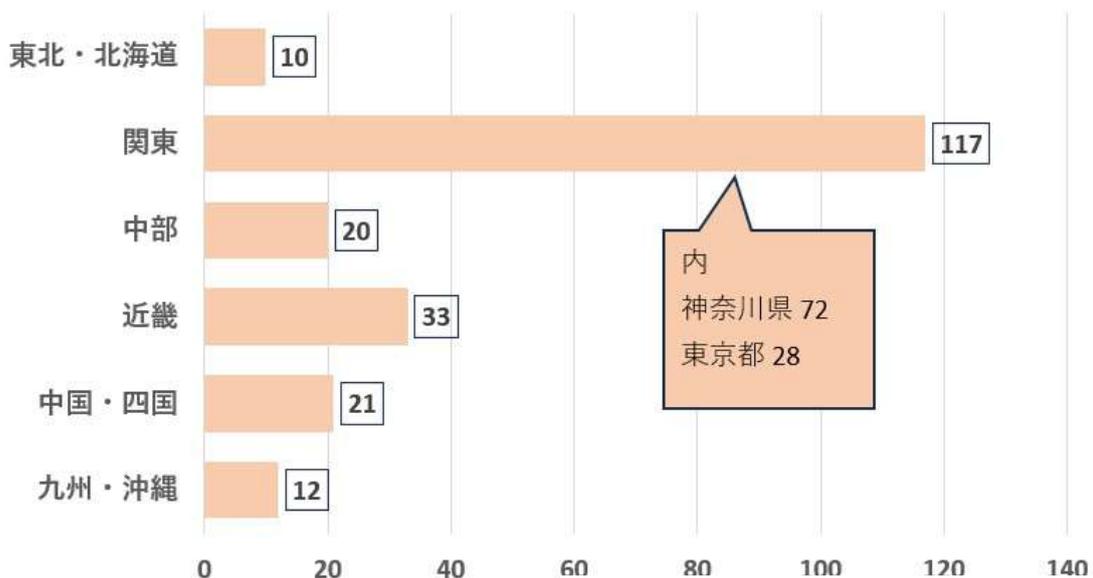
- 30年前と比べるとどの世代でもきもの割合が増えています。
- 特に若い世代ほどきもの比率が高くなっています。人生の通過儀礼できものを着るイベントの際は広く着られているようです。
- また写真店やレンタル店の普及で自分で全て揃えなくても着ることができる環境も大きいようです。

# 十三まいりの衣装は



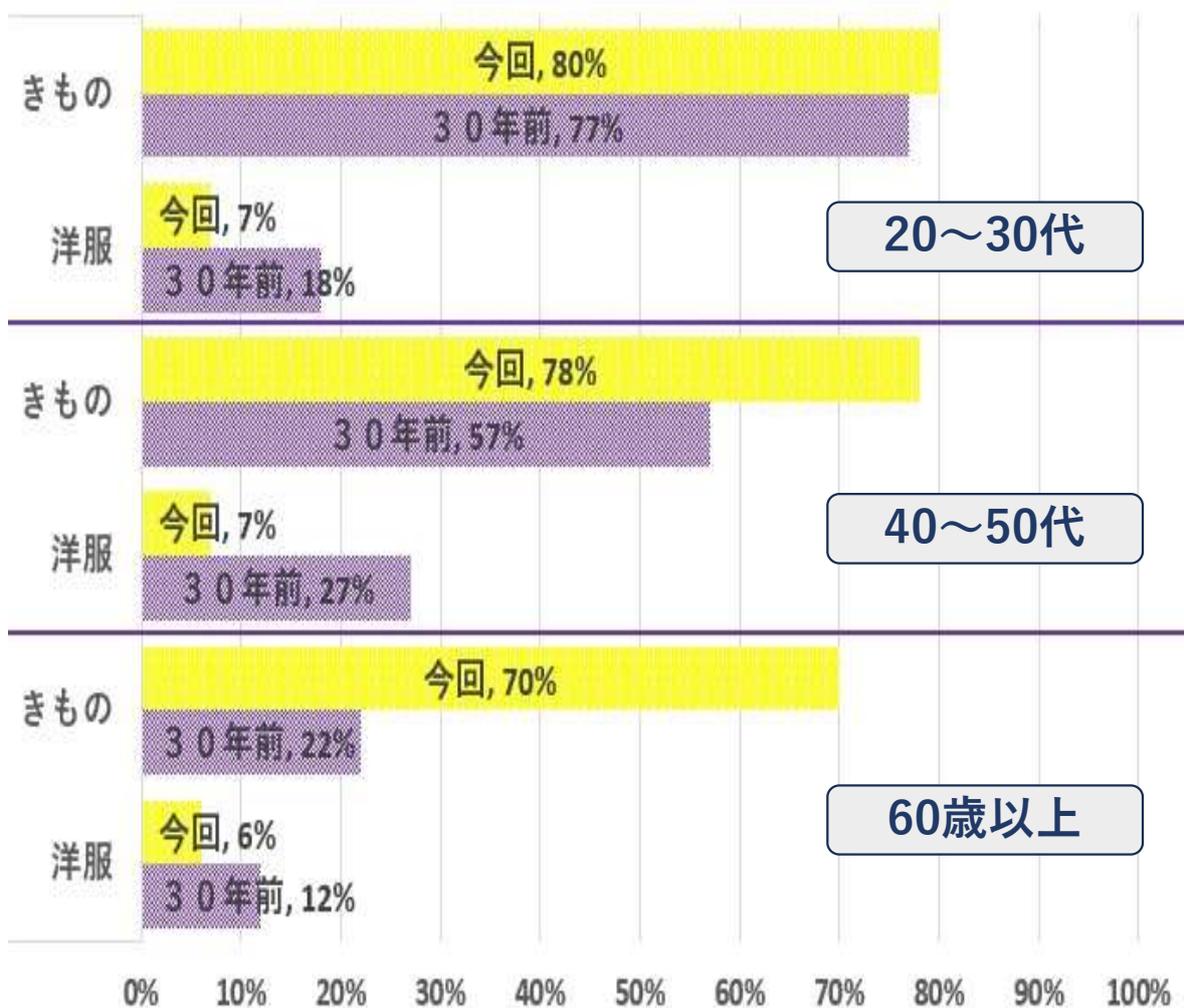
- ・十三まいりを実施されたのは全体の16%でした。内、きものは約半分でした。
- ・更に回答者のお子さんで実施したのは全体の5%でした。
- ・アンケート実施が神奈川なので回答者は神奈川出身が59%と多いのですが、近畿出身の回答者数は9%、お子様の十三まいり実施は15%と若干高くなっています。
- ・現在は神奈川に住んでいますが出身が近畿という方が、ご自分もお子様も実施していると思われます。

## お子さんが実施した親の出身地は



©2025 公益社団法人 服飾文化研究会

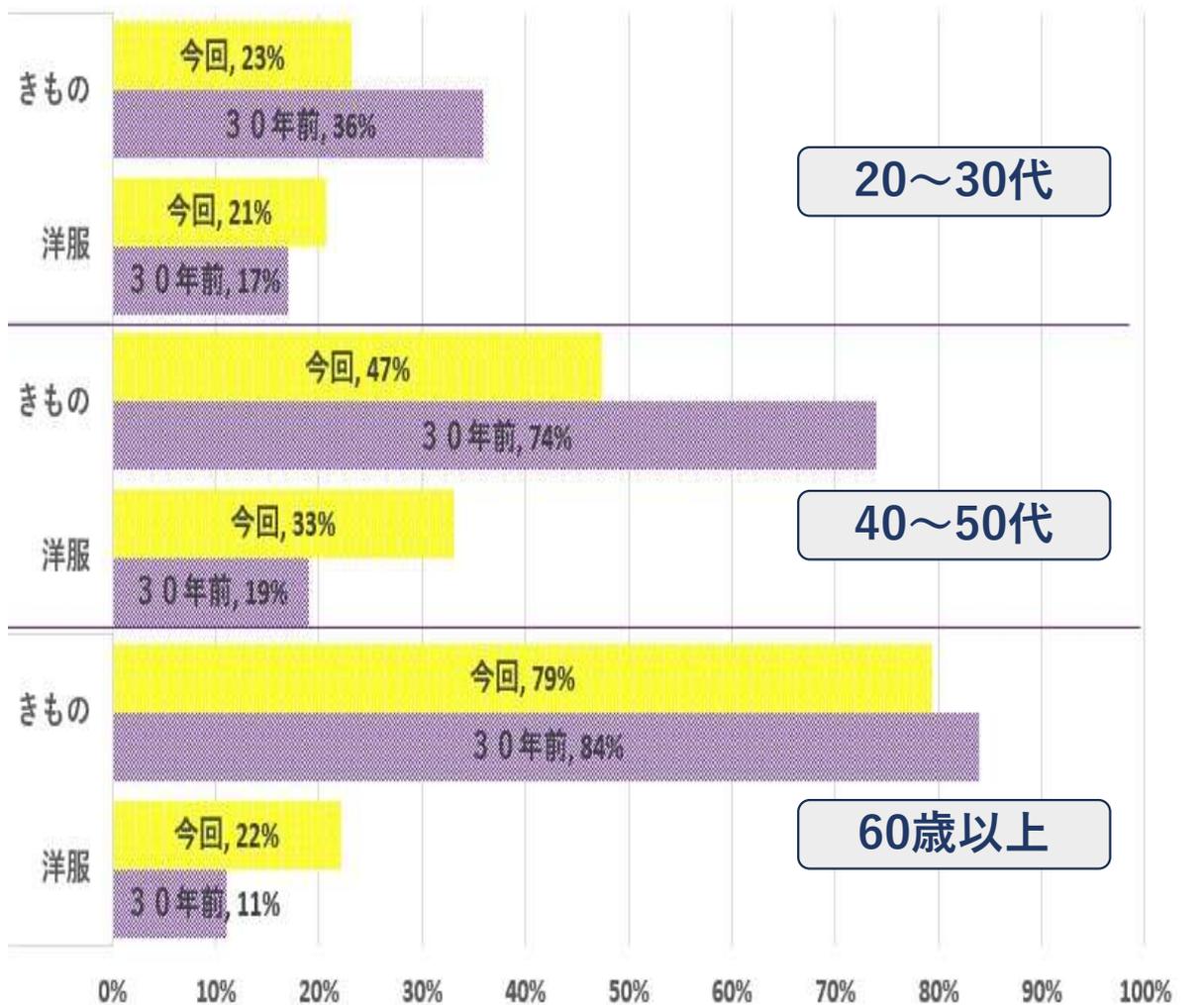
## 質問 = 成人式（二十歳を祝う会） に着たのは？



©2025 公益社団法人 服飾文化研究会

- 30年前と比べるとどの世代でもきもの割合が増えています。
- 特に若い世代ほどきもの比率が高くなっています。人生の通過儀礼できものを着るイベントの際は広く着られているようです。
- またネットやレンタル店の普及で自分で全て揃えなくても着ることができる環境も大きいようです。

## 質問＝結婚式に着たのは？

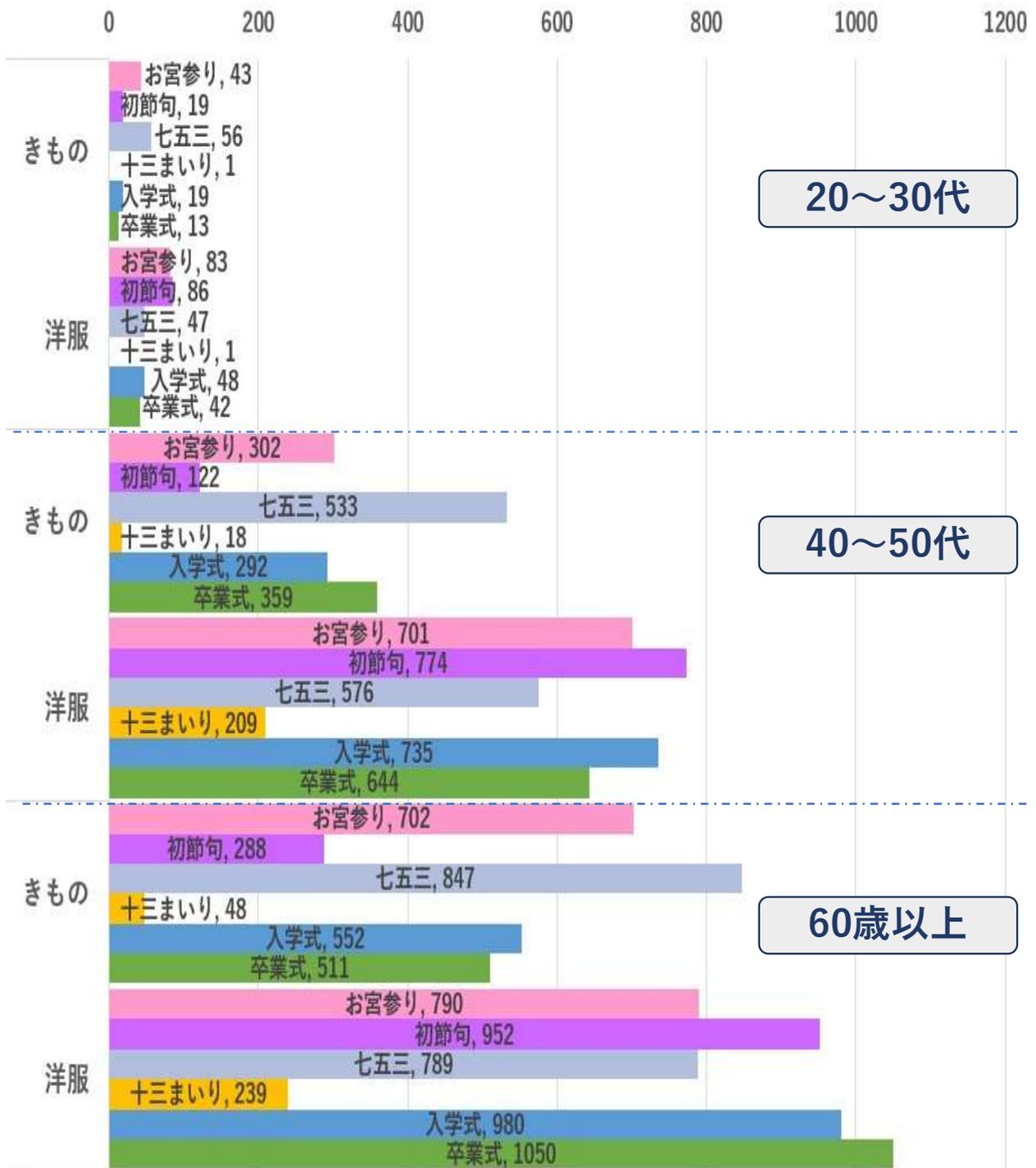


©2025 公益社団法人 服飾文化研究会

- 30年前は圧倒的にきものが多かったが、今はドレス（洋装）との差が縮まっています。
- しかし、現在の若い年代もきものの方が若干多いことから、まだまだきものの人気も高いようです。

# お子様の行事でお母様が着たのは...

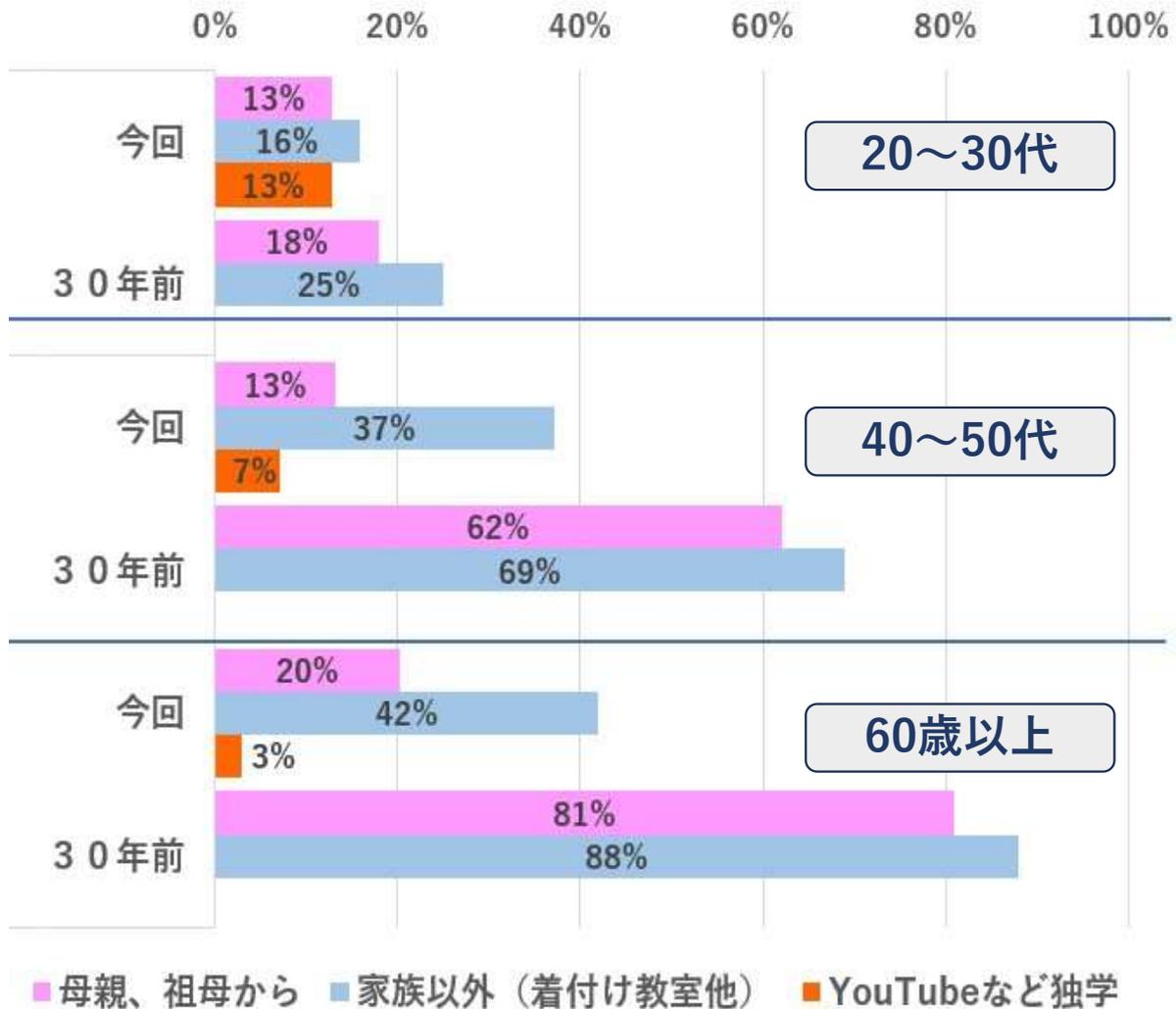
(実数)



©2025 公益社団法人 服飾文化研究会

- ・ 60歳以上のお母さまは各種行事にきものを着たことが多いようですが、若いお母様ほど洋服が多いようです。
  - ・ どの年代も七五三、入学式、卒業式に着られる方も多いようです。
- 当会では入学式、卒業式にきものを着たいと習いにみえるかたも多くいらっしゃいます。

# きものの着つけはどこで習いましたか？

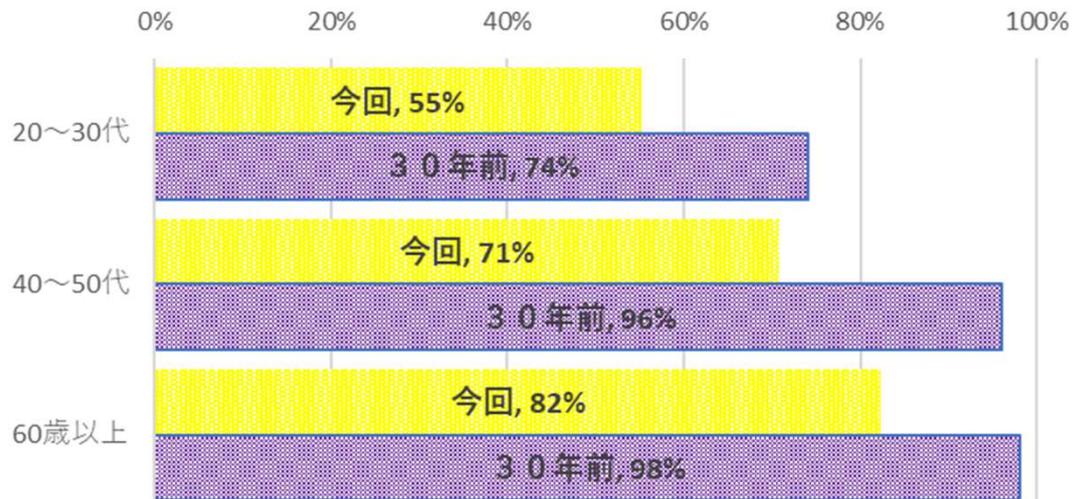


©2025 公益社団法人 服飾文化研究会

- きものが日常着からイベントや晴れの日に着るものと変わり、母から子へ伝えるという時代から、教室に通って習う時代になったということがはっきり見られます。
- 近年YouTube等の普及により特に若い人に独学が増えています。

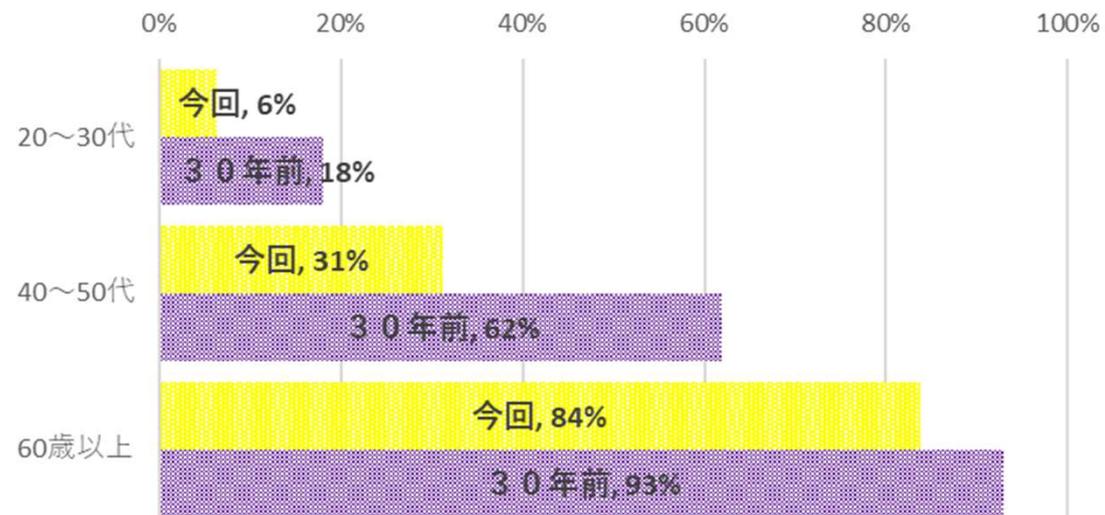
# どんなきものをお持ちですか？

## 普段着（紬・ウール・木綿等）



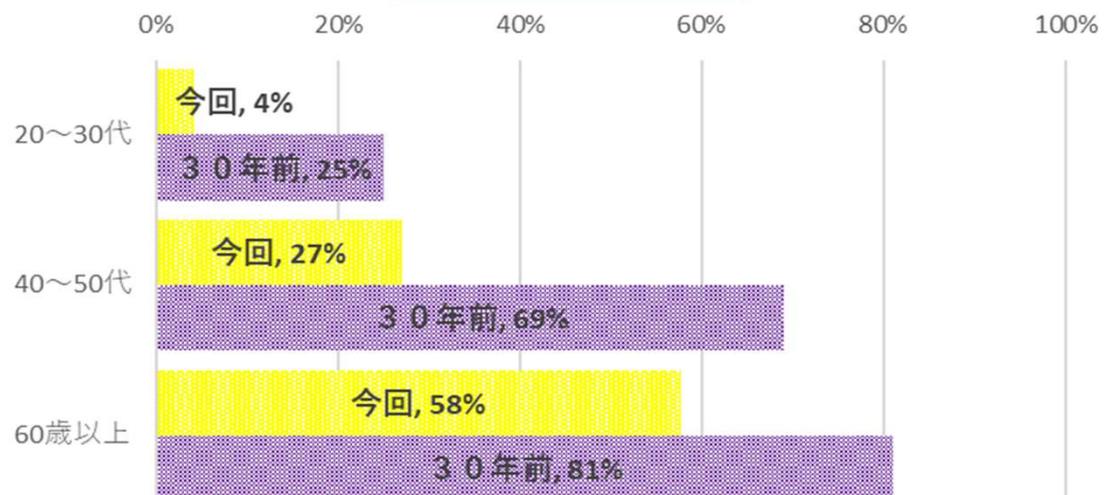
©2025 公益社団法人 服飾文化研究会

## 晴れ着（振袖・訪問着・色無地・小紋等）

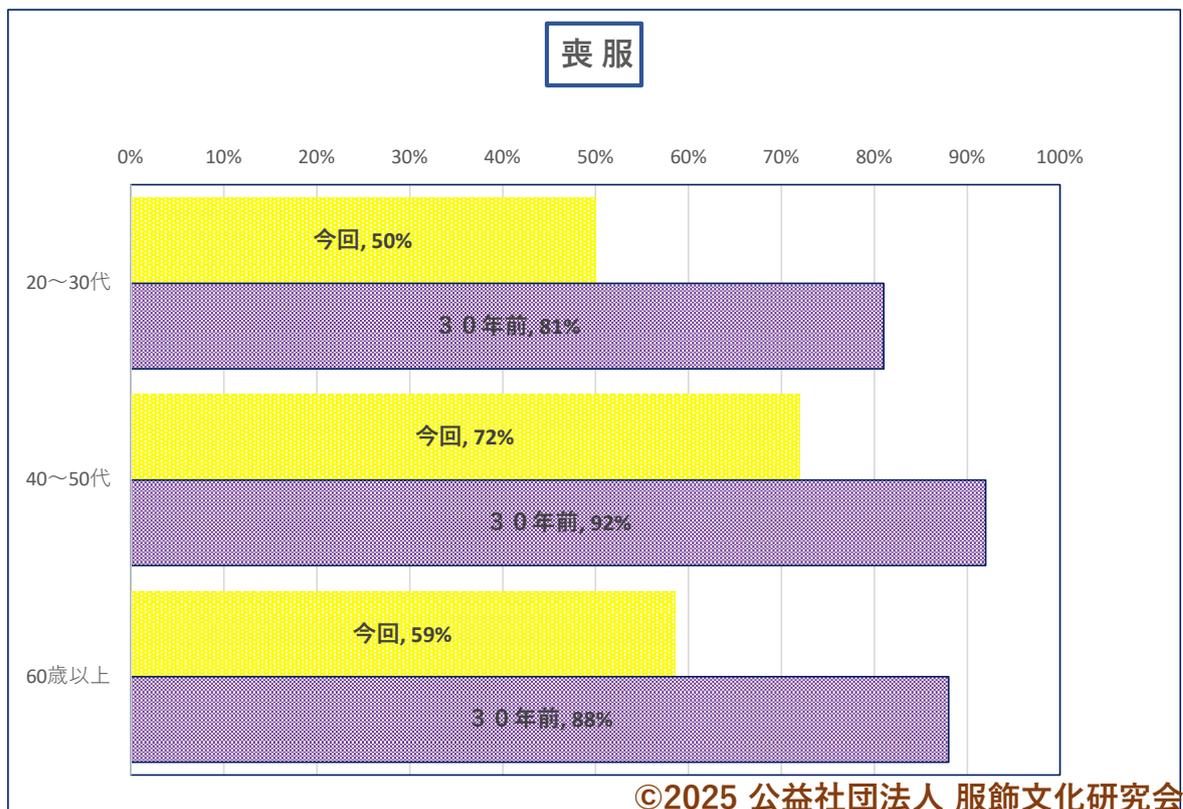


©2025 公益社団法人 服飾文化研究会

## 留袖（江戸裃）



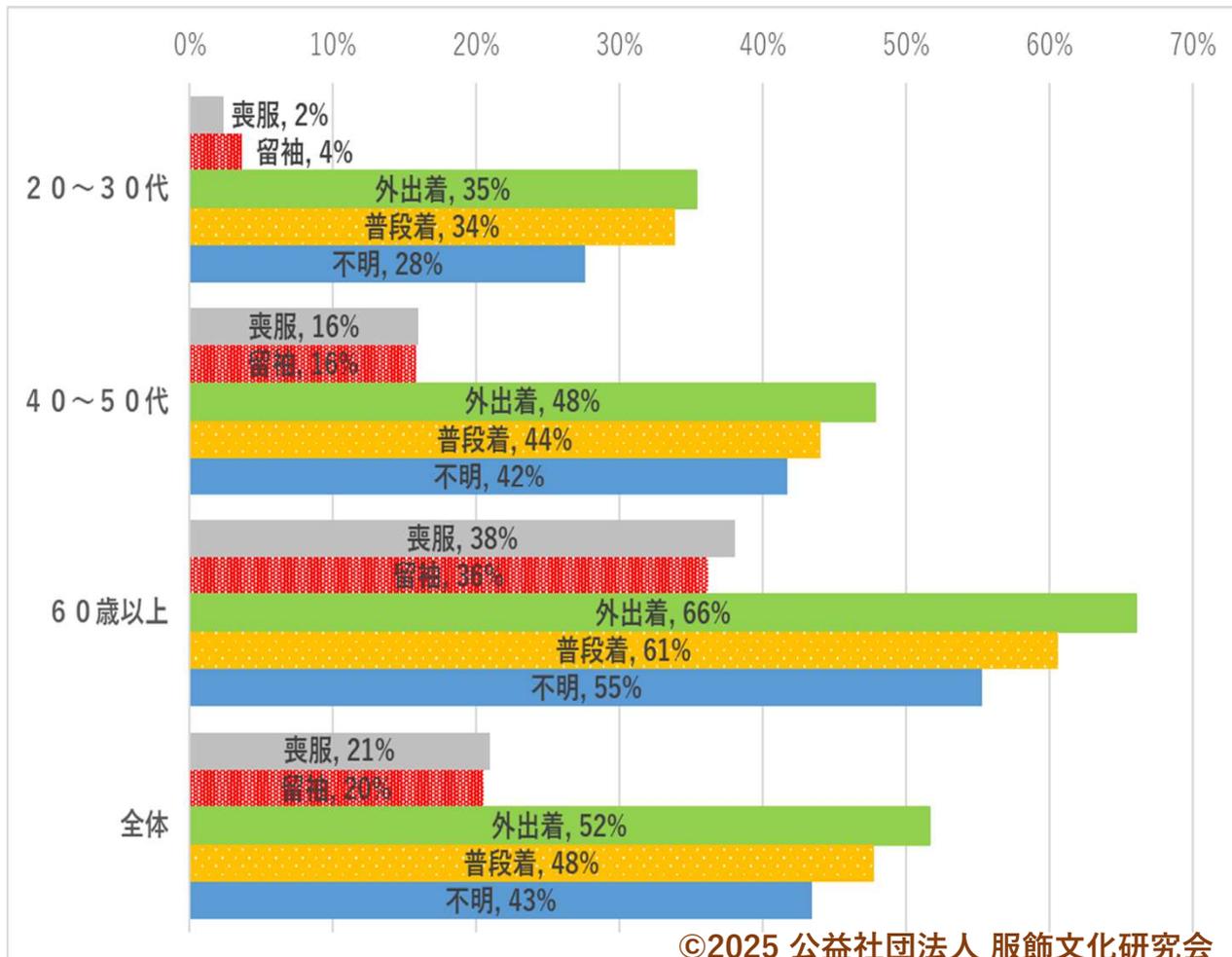
©2025 公益社団法人 服飾文化研究会



- ・ 普段着はご回答いただいたすべての年代で半数以上の方がお持ちでした。
- ・ 晴れ着、留袖は若い年代ほど少なくなっています。貸衣装の普及も理由のひとつと思われます。
- ・ 喪服はすべての年代で保有が多いです。結婚時に親に作ってもらった方が多いようです。
- ・ 60歳以上の方は  
30年前はすべてのカテゴリーを90%以上の方がお持ちでした。  
現在でも80%以上の方がお持ちですが、喪服のみ少なくなっています。

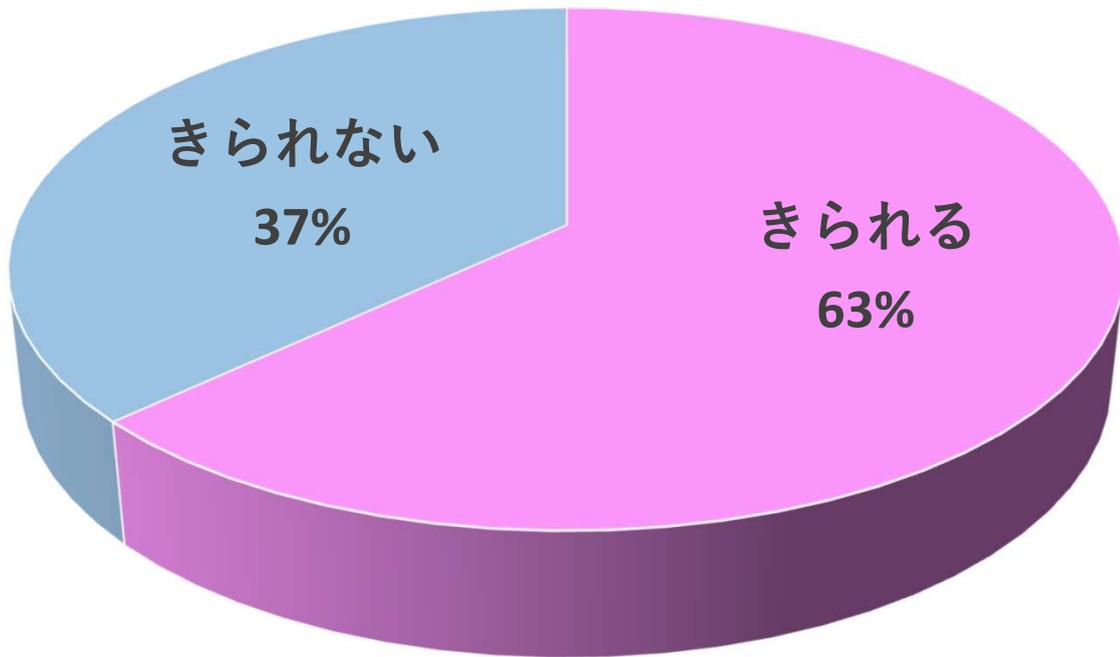
# 着られないけれど...

ご自分では着られないと回答された方のお持ちの着物



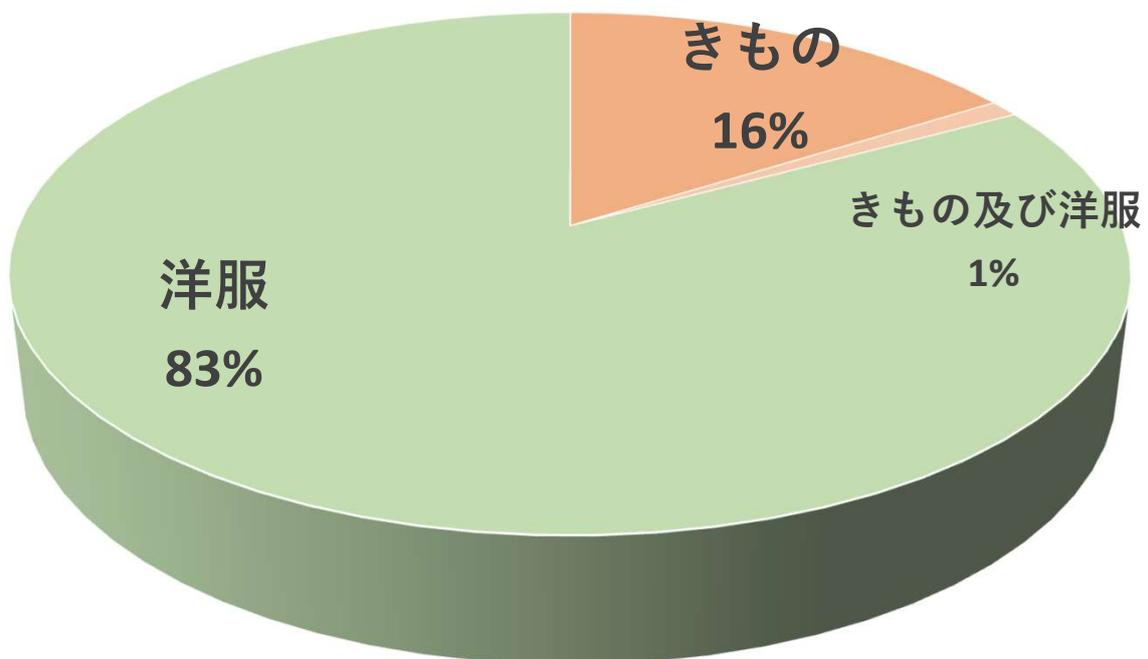
- ・自分では着られないけれど持っています、という方は72%いらっしゃいました。
- ・実際にお持ちのものは約半数の方が普段着、外出着をお持ちでした。

きものを自分で着られますか？  
(60代以上)



©2025 公益社団法人 服飾文化研究会

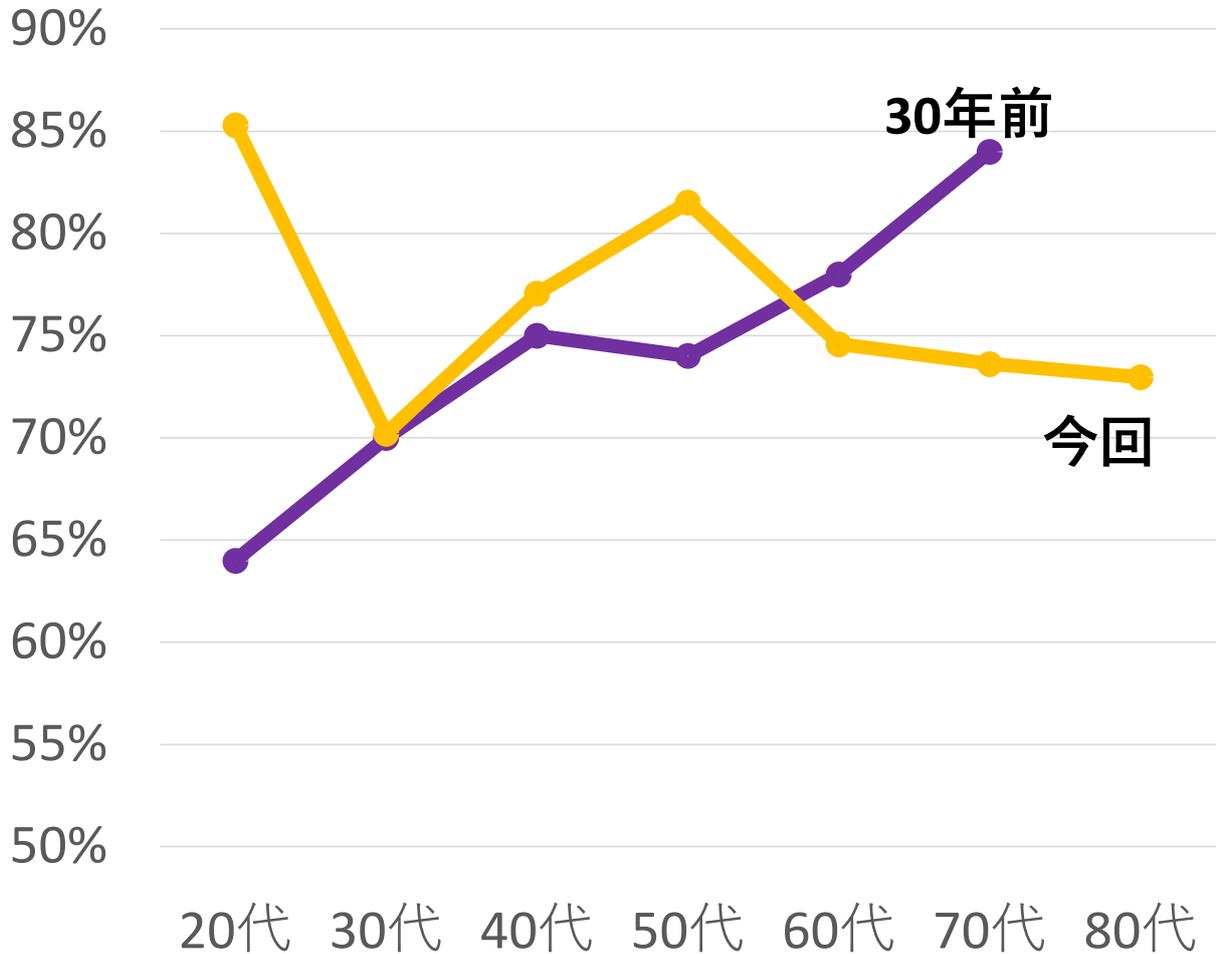
ご自身の歳祝いの時に何を着ましたか？  
(還暦・古希・喜寿など、60代以上)



©2025 公益社団法人 服飾文化研究会

きものを自分で着られる方は、63%もいらっしゃいますが・・・  
ご自身のお祝いできものを着る方は少ないようです。  
ぜひ、お祝いの際にはきものをきてください！

# 自分のきものを次の世代・こどもや着てく ださる方に譲りたい



©2025 公益社団法人 服飾文化研究会

- 今回の調査では、特に20代の方の譲りたい比率が高く、インターネットを通じての販売をはじめとするリサイクル文化が根付いてきていることがうかがえました。
- 30年前は、年齢が高くなるにつれて、次世代に譲りたいという比率が高くなるのが顕著でした。
- 今回の調査では年代が年齢が高くても、特に譲りたい比率が高くなることはありませんでした。中には、処分済みというコメントもありました。